

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 23日

事業所名 児童発達支援センター パステル

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	3	・活動に応じて部屋を3つ活用	・次年度は移転に向けて改装工事を業者と現在進めている
	2	職員の配置数は適切である	4	0	3	・配置基準に応じて対応している	・状況に応じて採用を検討
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0	1	・施設内はバリアフリー	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	2	・清潔の保持を日常的に行っている 環境や遊具の除菌など	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	0	7	・定期的に職員間で情報共有を行っている	・内容、振り返りが不十分な所がある。会議などで共有していく
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	3	・保護者へ向けたアンケート調査の実施	・職員の役割を明確にし、業務改善を行っていく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1	1	・ホームページにて公開	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2	3	・内部監査を実施、苦情報告に関しては第三者委員会を設置	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	1	・必要に応じて研修会へ参加	・引き続き研修会の参加を行っていく
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	3	・保護者と連携を取りながら作成している	・医師、作業療法士と共同しアセスメントツール作成中
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	2	4		・医師、作業療法士と共同しアセスメントツール作成中
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	1	3	・保護者、利用者のニーズを計画者の反映している	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	3		・職員間で共有する機会を増やしていく
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	0	5		・職員で役割を決めて行っていく
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0	4	・ダンボールで教材作成しオリジナルな活動に提供	・四季や行事などに応じて、様々な計画を行っていく
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	3	2	2	・家族と連携を取りながら作成している	・年齢に応じた活動プログラムの作成、就学に向けての活動プログラムの作成が必要

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	3	・朝礼時に利用者状況の確認をしている	・役割分担、支援内容など不十分な所があるため改善していく
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	0	5	・保護者からの意見、相談があれば日誌に記入し申し送りや必要に応じてミーティングを行っている	・職員間の情報共有の場を増やしていく
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	2	・お昼寝の時間や送迎終了時に日々記録は徹底している	・検証、改善に繋がるように改善していく
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0	相談支援事業所、関係機関のモニタリングに参加している	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1	0	・児童発達管理責任者や専門職が参加している	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	2	3	・家族支援を保健所と連携を取りながら進めている	・連携が取れるよう、行政と調整中
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	2	1	・保健所、市町村に地域ニーズの調査を実施している	・調査した課題を関係機関で連携を図り改善していく
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	0	2	・家族と連絡体制を取り、月1回クリニック和睦のドクターが往診	・継続して実施していく
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	2	・保育園の会議で利用の様子や配慮事項など、児発管、専門職が伝えている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2	0		・必要性に応じて対応していく
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	2	・研修に参加している	・必要性に応じて行っていく
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	1	6		・次年度より計画し行っていく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	0	5	・医療的ケア児の自立支援協議会に参加している	・必要性に応じて行っていく
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	1	・送迎時や連絡帳を通じて行っている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	0	4		・自宅での困り感(入浴・食事など)の支援について助言などを行っていく
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	2	・利用契約時に行っている	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	1	1	・児発管より計画書の同意を行っている	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	1	・送迎時などにコンタクトをとっている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	1	6		・次年度より保護者が集まれる場を設けていく
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0	・相談、申し入れがあった場合、管理者、主任、児発管で話し合い対応している	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	1		・子供たちの活動の様子を、月1回の会報発行を実施していく
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	0	・職員間で周知、徹底を行っている	・今後も徹底して行っていく
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1	0	・文書に残したり、具体的に説明している	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	0	3		・次年度より計画していく
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0	2	・保護者に公文を発行し周知してる	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1	0	・消防計画書に基づいて実施	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0	0	・児発管より情報提供を行っている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	1	・指示書はいただいているが、家族と情報共有している	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	1	・全職員で確認している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	1	4		・次年度より計画していく
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	1	2	・利用契約時に保護者に確認を取っている	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。